

宮古の農林水産業

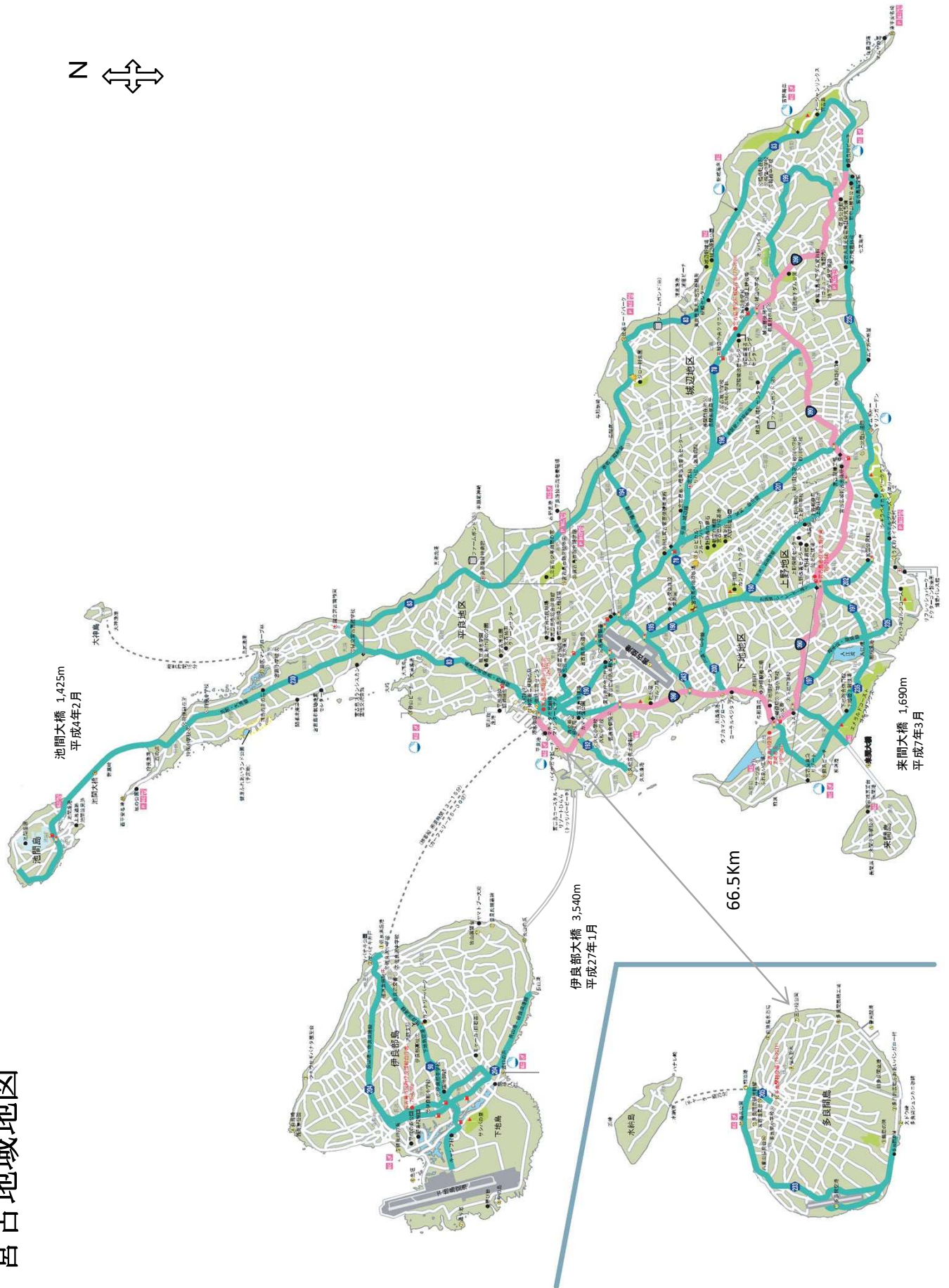
(概要版)



令和7年度版

沖縄県宮古農林水産振興センター

宮古地域地図



1 宮古地域の概要

(1) 位置、気候

宮古諸島は、北東から南西へ弓状に連なる琉球弧のほぼ中央にあって、大小8つの島（宮古島、池間島、大神島、伊良部島、下地島、来間島、多良間島、水納島）からなり、1市1村で構成されている。平年値で年間平均気温23.8℃、平均湿度77%、年間降水量2076.0mmで、四方を海に囲まれ高温多湿な亜熱帯海洋性気候である。

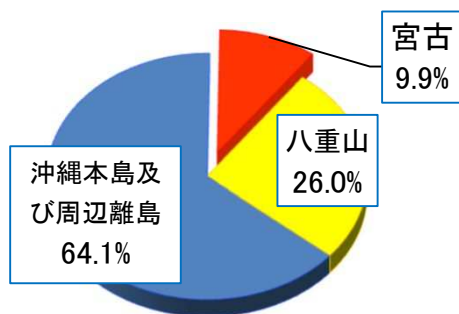
1～2月が最も寒く、1月の最低気温の平年値は16.3℃である。5月中旬頃～6月下旬頃が梅雨で、梅雨が明けると本格的な夏になり、9月頃まで連日最高気温が30℃以上の暑さが続く。

夏季～秋季は台風シーズンで、特に8～9月頃に襲来する傾向がある。台風は恵みの雨をもたらすことも多く、台風の少ない年は干ばつに見舞われることも多い。

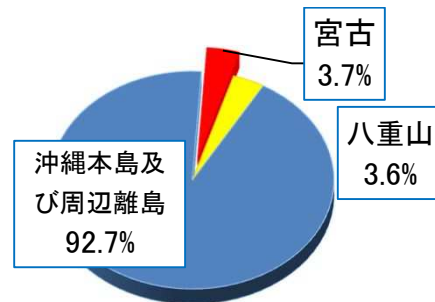
(2) 土地面積・人口

宮古諸島の総面積は225.90km²、総人口は54,020人である。宮古諸島の総面積は全島の9.9%、総人口は全島の3.7%で、人口密度は239人/km²となっている。

ア 沖縄本島、宮古、八重山の面積割合

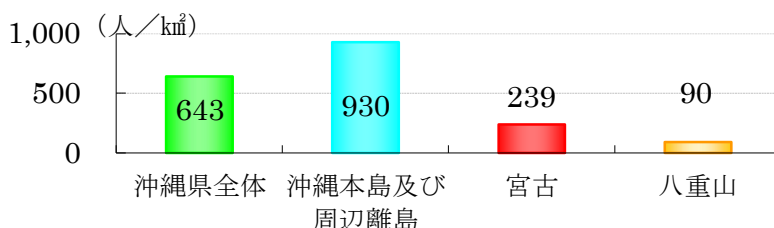


イ 沖縄本島、宮古、八重山の人口割合



資料：国土地理院「令和7年全国都道府県市区町村別面積調」
沖縄県「沖縄県推計人口」（令和7年10月1日現在）

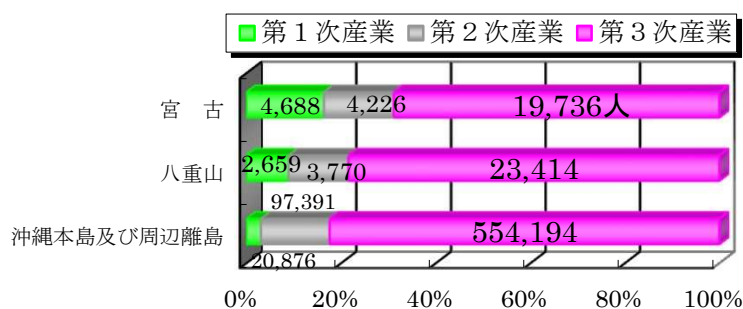
ウ 県全体、沖縄本島、宮古、八重山の人口密度（1km²あたり）



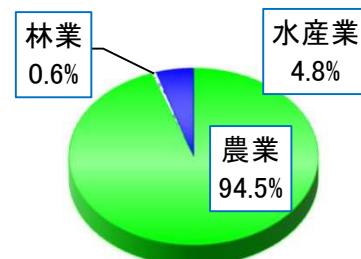
(3) 産業就業者の構成

宮古地域の産業就業者の割合は、第1次産業が16.4%、第2次産業が14.8%、第3次産業が68.9%であり、沖縄本島、八重山と比べると第1次産業就業者の割合が高い。

ア 産業就業者数の構成割合



イ 宮古地域の第1次産業の内訳



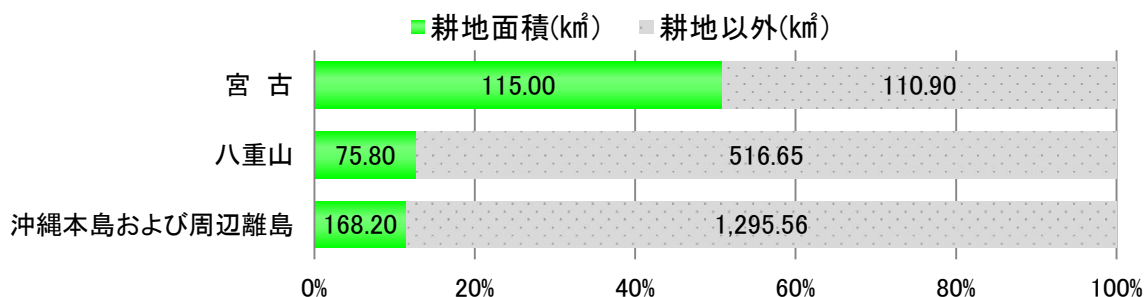
資料：「令和2年国勢調査」

2 宮古地域の農業の概要

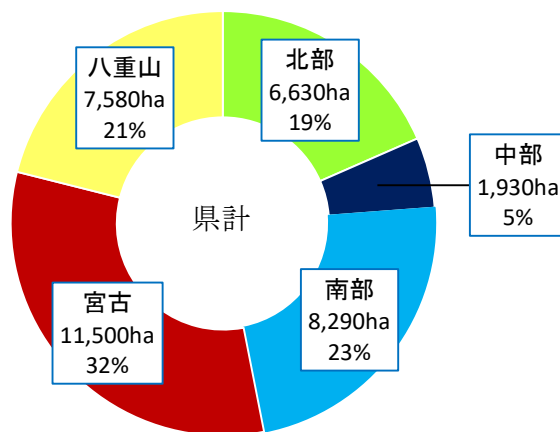
(1) 地形と耕地面積

宮古の各島は、総じて平坦な地形で、琉球石灰岩を母材とする透水性の良い島尻マーヅの土壌である。そのため耕作に適し、地域総面積に占める割合50.9%で、県内の他地域と比べて非常に大きい。耕地面積は11,500haで、県全体の約32%を占めている。

ア 耕地面積の割合



イ 各地域別耕地面積



資料：第53次沖縄県農林水産業統計年報

(2) 農業の概要

宮古地域においては、亜熱帯の気象条件を生かし、基幹作物であるさとうきび、肉用牛、野菜、果樹、葉たばこ等の生産が多様に展開され、甘味資源及び冬春期の農作物の供給産地としての地位を得ている。

特に、ゴーヤー、とうがん、かぼちゃ、オクラ、さやいんげん、マンゴー、肉用牛、が沖縄県の戦略品目の拠点産地に認定されており、生産振興を図っている。

宮古の拠点産地認定品目

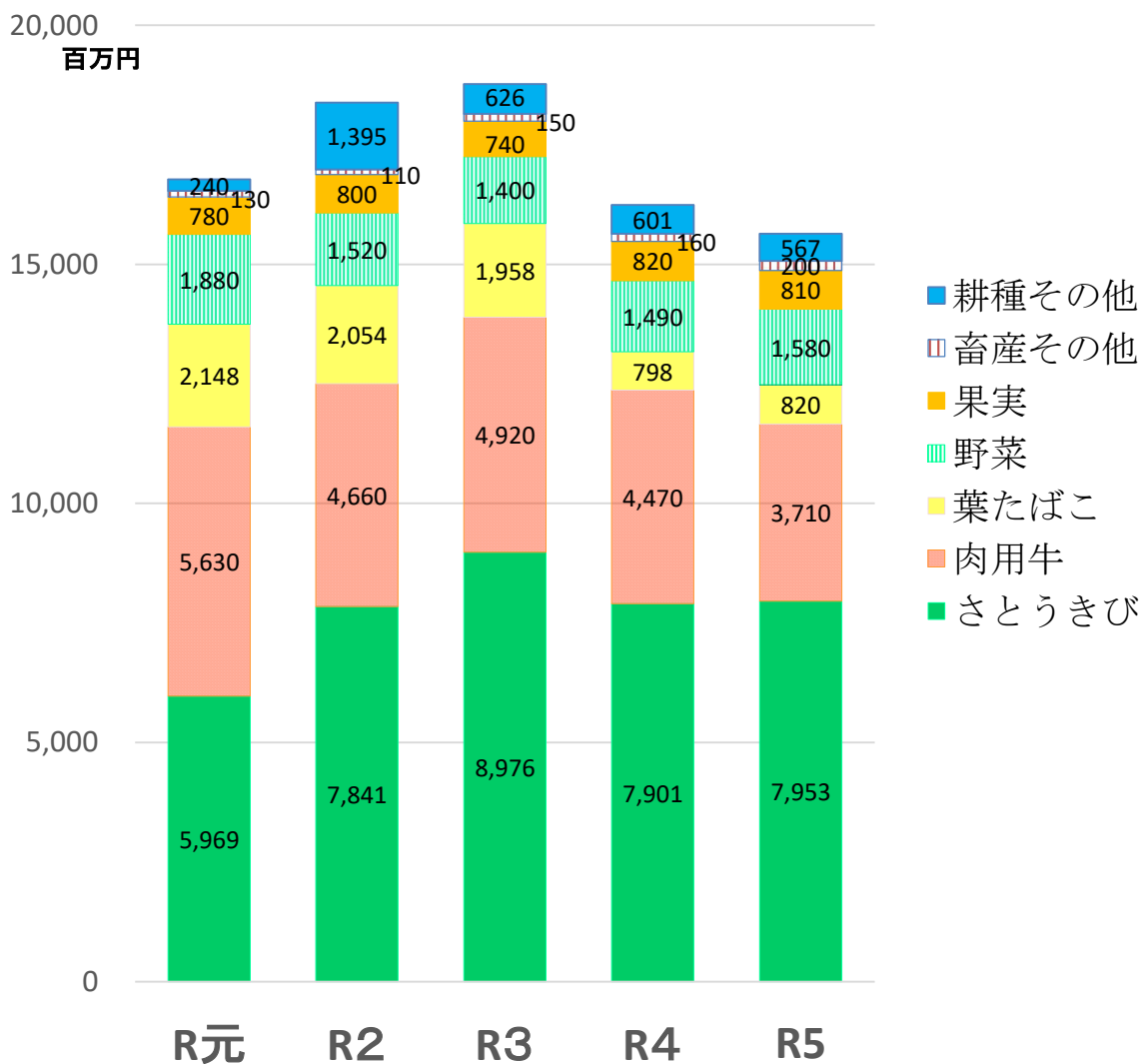
品目	市村	認定日
とうがん	宮古島市	平成19年2月8日
ゴーヤー	宮古島市	平成19年2月8日
かぼちゃ	宮古島市	平成19年2月8日
マンゴー	宮古島市	平成21年3月26日
オクラ	宮古島市	平成25年4月26日
さやいんげん	宮古島市	平成31年1月23日
肉用牛(子牛)	宮古島市	平成21年7月21日
肉用牛(子牛)	多良間村	平成24年1月17日
肉用牛(肥育)	宮古島市	平成23年4月8日
かんしょ	宮古島市	令和2年3月26日

拠点産地とは・・・

組織力があり、「定時、定量、定品質」の出荷原則に基づき、一定量の生産物を安定的に供給し、消費者や市場から信頼される産地。

(3) 宮古地域の農業産出額の推移【推計】

宮古の農業生産は台風・干ばつ等の気象条件に左右され、近年の農業産出額は150億円の範囲で推移してきたが、令和4年は約162億円、令和5年は約156億円と推計されている。



資料：沖縄県農林水産部「農業関係統計」、農林水産省「市町村別農業産出額(推計)(農林業センサス結果等を活用した市町村別農業算出額の推計結果)」をもとに作成
 ただし、さとうきびは沖縄県農林水産部「さとうきび及び甘しゃ糖生産実績」
 葉たばこは沖縄県たばこ耕作組合提供資料による。

3 宮古地域の主要作目の特色

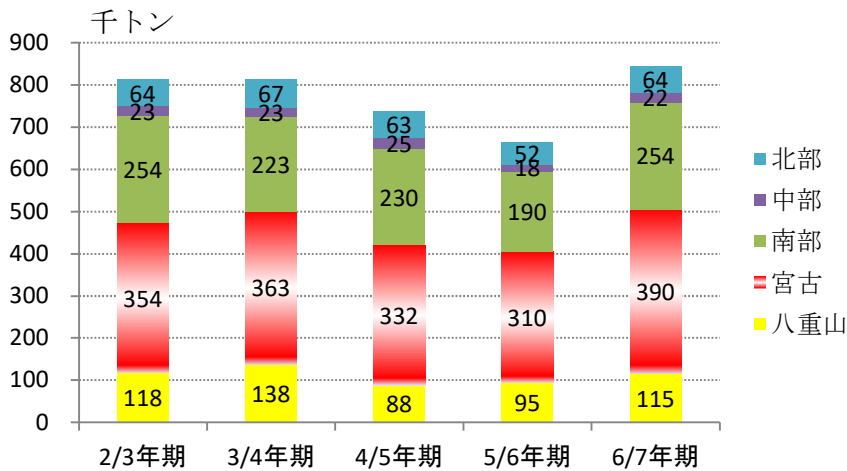
(1) さとうきび

さとうきび栽培及び糖業は、近年、担い手の不足や高齢化により厳しい状況にあるが、宮古の地域経済を支える基幹的重要性を維持している。近年は生産量30万トン前後で推移しており、県全体の約4割を占めている。

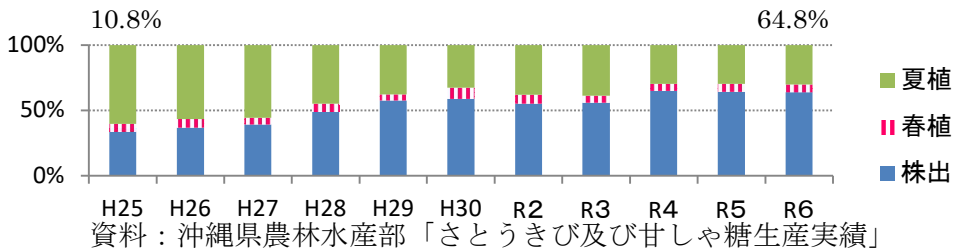
令和6/7年産は、生育初期の4～6月の降水量は平年値を大きく上回り、7月は少雨傾向にあったが、その後の台風3号の接近による降雨により、干ばつが回避され被害も軽微であった。生育後期も適度な降雨があり、生産量は約39万トンであった。

以前の作型は、土壌害虫の食害による株不萌芽により株出栽培が難しく夏植え栽培が主流であった。近年では、株出し栽培面積が急速に拡大し、令和6/7年産収穫面積のうち株出栽培が64.1%を占めている。

ア さとうきび地域別生産量の推移



イ 宮古地区株出面積の推移

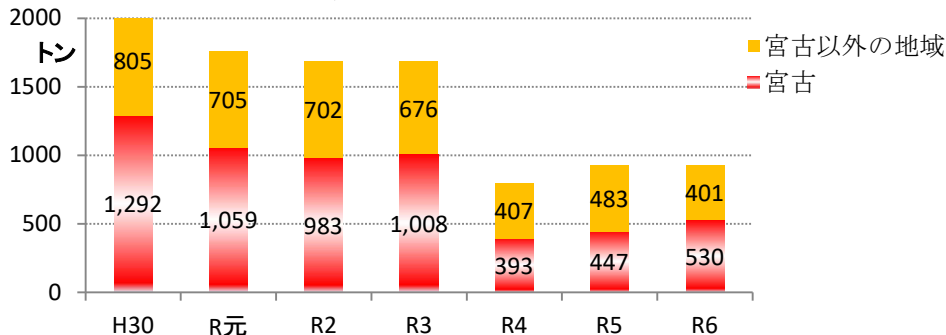


(2) 葉たばこ

葉たばこの算出額は、年によってばらつきがあるものの過去5年間の平均は約13億円で、宮古地域ではさとうきび、肉用牛に次ぐ第3位となっている。

令和5年の収穫面積は263ha、生産量は530トンであり、いずれも県全体の5割近くを占めている。

宮古地区葉たばこ生産量の推移

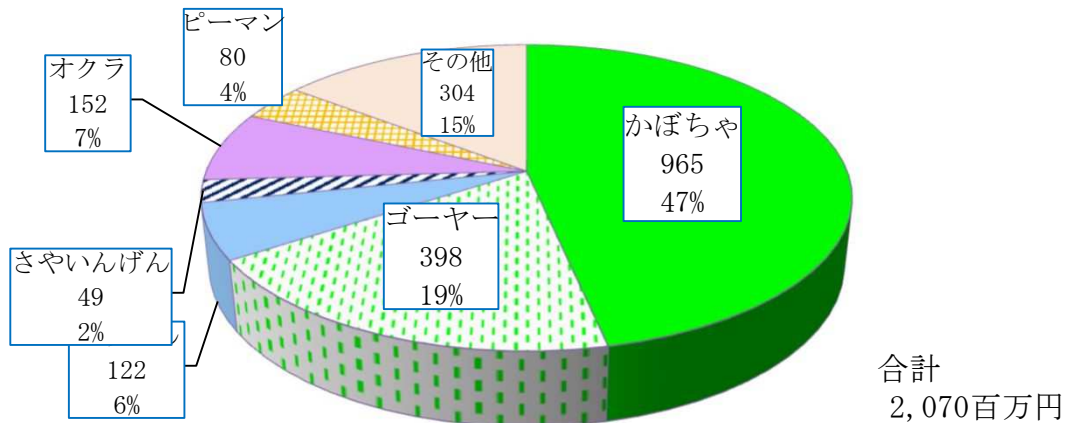


資料：沖縄県たばこ耕作組合

(3) 野菜

亜熱帯の気象条件を生かし、かぼちゃ・ゴーヤー・とうがん等の冬春期における県外出荷品目を中心に生産されている。

令和6年度 宮古地域野菜生産額(百万円)



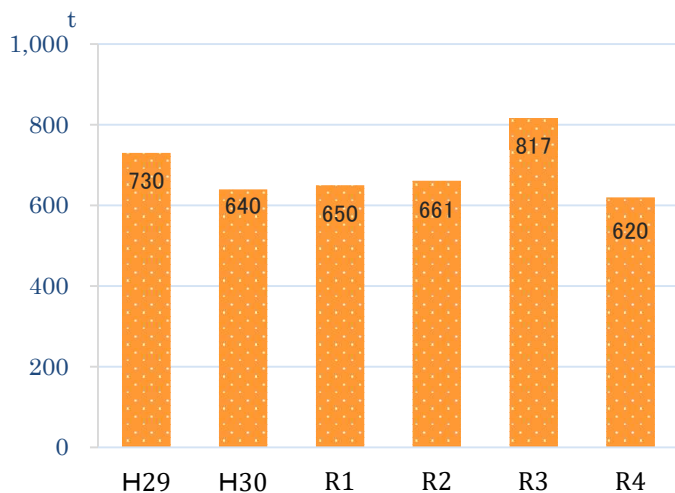
資料：沖縄県宮古農林水産振興センター業務資料

(4) 果樹

果樹は、補助事業を活用した施設(ハウス)の導入により、マンゴーの生産量が多く、宮古地域は県内でも一大産地となっている。

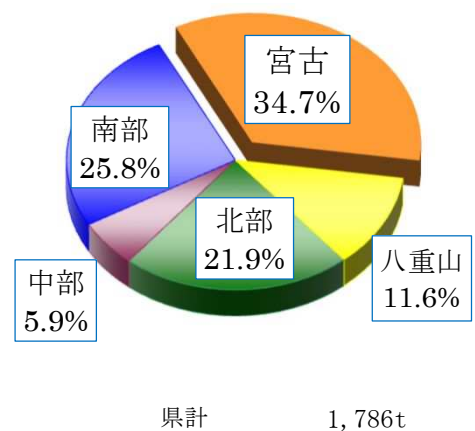
令和4年のマンゴー生産量は、1~2月の天候不良により着果不良や大雨の影響による冠水被害、病害虫の発生が見られ、生産量は620トンにとどまった。

ア 宮古地区におけるマンゴー生産量



資料：沖縄の園芸・流通

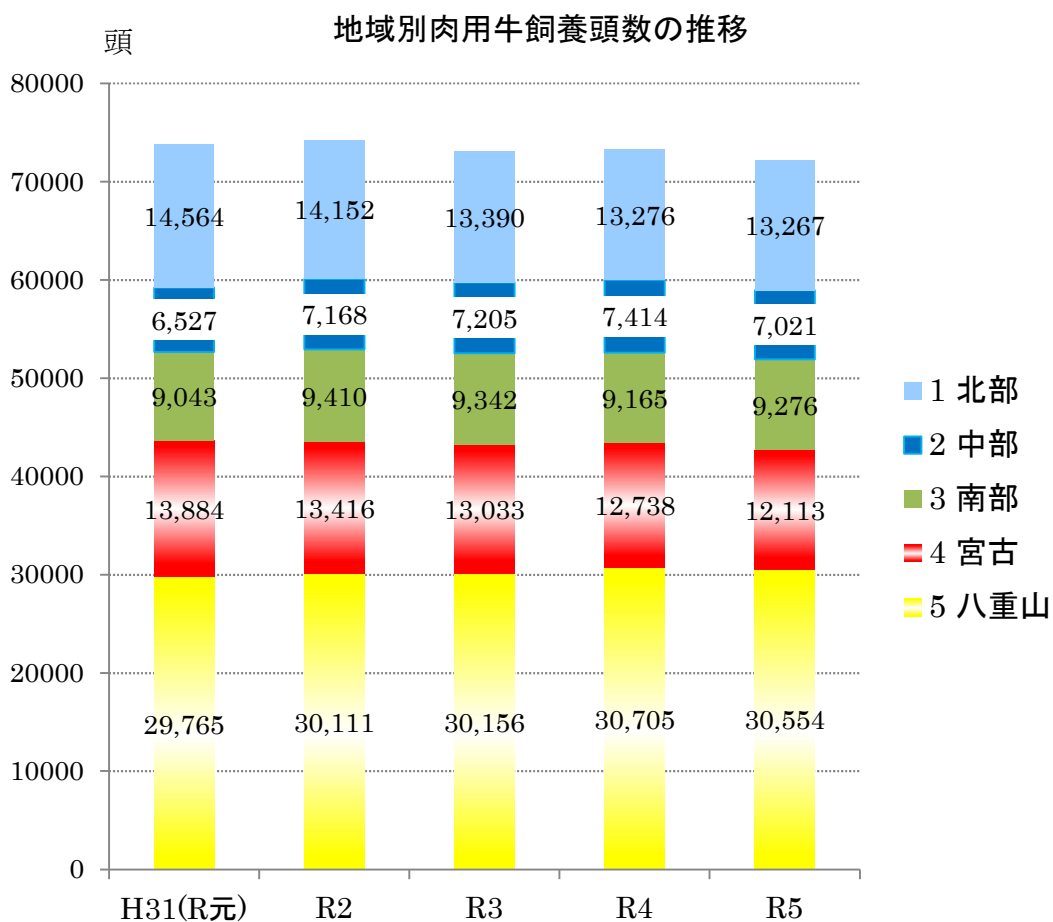
イ【参考】令和4年産マンゴーの県内地区別生産状況



資料：沖縄県農林水産部「沖縄県の園芸・流通」

(5) 畜産

宮古地域における畜産の主要畜種は肉用牛であり、さとうきびに次ぐ第2位の品目である。令和5年における宮古地域内の肉用牛飼養戸数は611戸で県全体の約30%を占めるが、飼養頭数は12,113頭で県全体の約17%であり、他地域に比較して少頭飼である。



資料：沖縄県農林水産部「農業関係統計」（令和7年3月）

4 宮古地域の林業

宮古地域の森林の特徴は、面積が少なく無立木地が大量に存在しており、人工林が育成途上にあること、地形が平地型であることから農作物等が潮・風害、干ばつの被害を受けやすい環境にある。

そのため、森林の積極的な造成と保全を図り公益的な機能の発揮に努めるとともに、環境緑化木、特用林産物等の生産を通して地域森林・林業の振興を図っている。

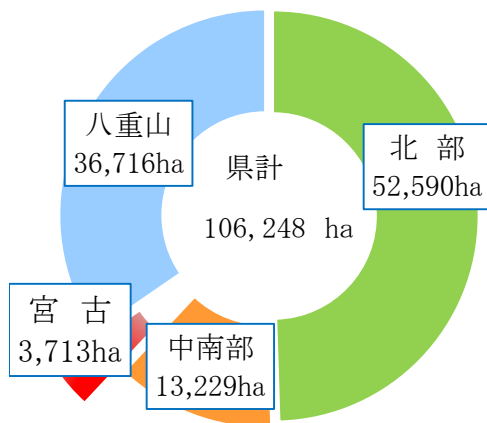
ア 森林面積及び森林率

面積：ha、率：%

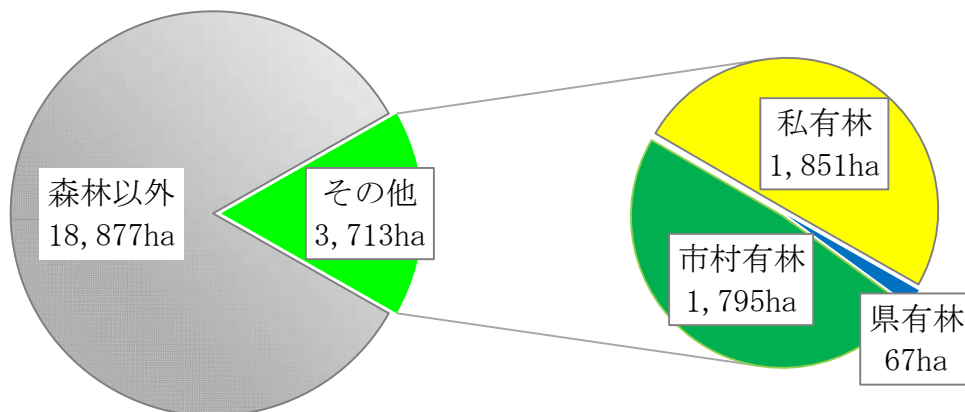
項目	県計	北部	中南部	宮古	八重山
総面積	228,211	82,545 36.2%	63,832 28.0%	22,590 9.9%	59,244 26.0%
森林面積	106,248	52,590 49.5%	13,229 12.5%	3,713 3.5%	36,716 34.6%
森林率	47%	64%	21%	16%	62%

資料：県森林管理課「沖縄の森林・林業 令和7年度版」

イ 地域別の森林面積



ウ 森林面積及び森林率



5 宮古地域の水産業

宮古島周辺は熱帯性海洋域に属し、水産業の立地条件として比較的恵まれた位置にある。

宮古地域の水産業は、沖合のパヤオ（浮魚礁）を利用した曳き縄・カツオ一本釣り漁業や底魚一本釣り、沿岸水域での伝統の追い込み網漁業、モズクやクルマエビ等の海面養殖業が盛んに営まれている。

ア 漁業生産量（平成30年）

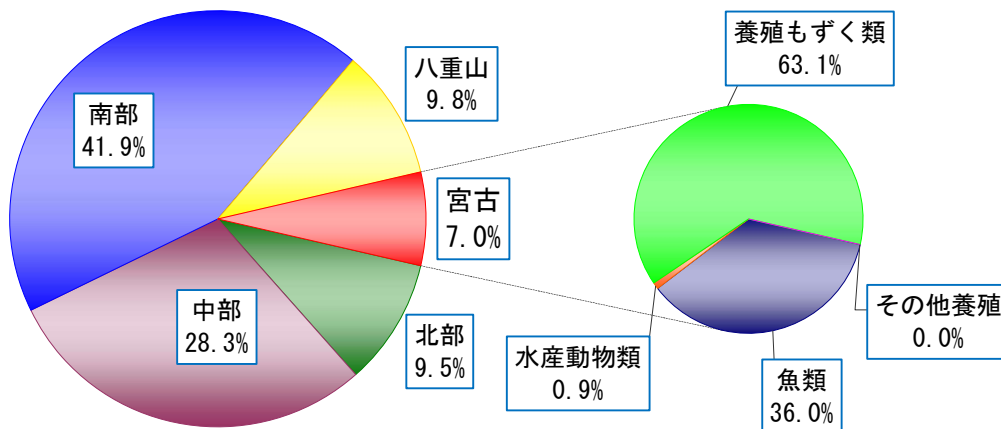
生産量：t、率：%

項目	県計	北部	中部	南部	宮古	八重山
海面漁業	15,555	1,062 6.8%	2,083 13.4%	10,155 65.3%	1,008 6.5%	1,246 8.0%
海面養殖業	23,579	2,656 11.3%	8,973 38.1%	6,258 26.5%	1,724 7.3%	2,585 11.0%
生産量合計	39,134	3,718 9.5%	11,056 28.3%	16,413 41.9%	2,732 7.0%	3,831 9.8%

資料：内閣府沖縄総合事務局農林水産部「第48次沖縄農林水産統計年報」

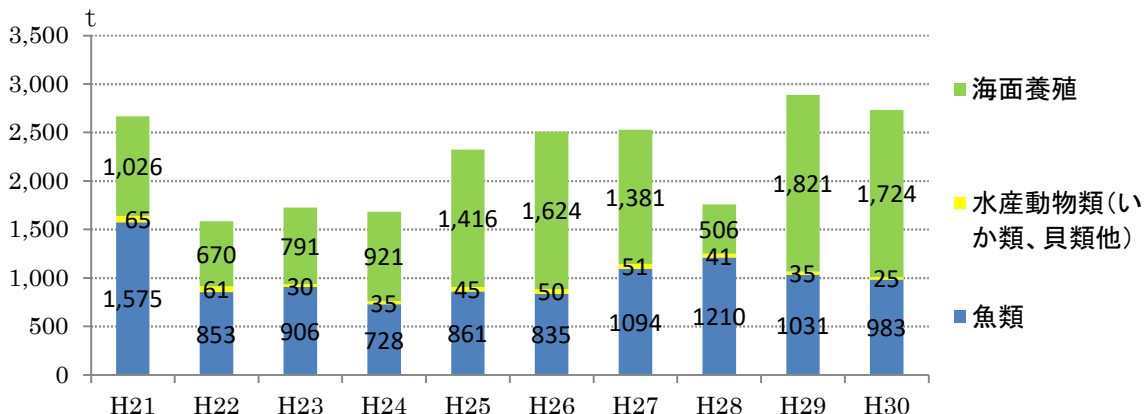
※海面養殖業は、一部集計値が不明(秘密保持上非公開)のため県計と各地区の合計が一致しない。

イ 漁業生産量と宮古地域の内訳(平成29年)



資料：内閣府沖縄総合事務局農林水産部「第48次沖縄農林水産統計年報」

ウ 宮古の漁業生産量の推移



資料：内閣府沖縄総合事務局農林水産部「第48次沖縄農林水産統計年報」

6 宮古地域の農業基盤整備の状況

宮古の土壌は、琉球石灰岩を母材とする透水性の良い島尻マーヅがその大半を占めていて、土層が浅く、干ばつ被害を受けやすい傾向がある。また、琉球石灰岩が地表に露出していることも多く、農業機械の効率的な稼働を阻害している。こうした農業にとって不利な条件を改善していくために、水資源の整備、畑地かんがい、圃場の整備等が行われている。

農業基盤整備の推移

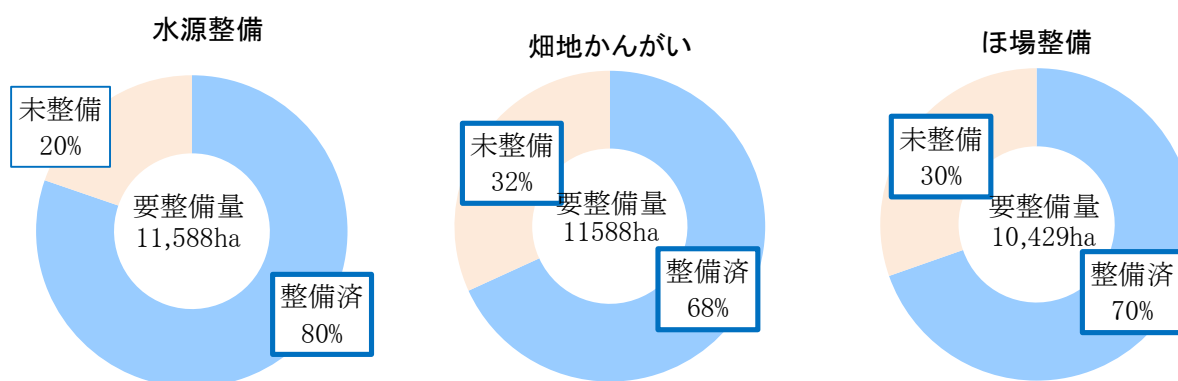
面積：ha、率：%

年 度	水源整備 (ha)			畑地かんがい (ha)			ほ場整備 (ha)		
	要整備量	整備済	整備率	要整備量	整備済	整備率	要整備量	整備済	整備率
平成10年	12,100.0	8,103.6	67.0	12,100.0	2,090.3	17.3	12,100.0	4,447.3	36.8
平成15年	12,168.0	9,242.0	76.0	12,168.0	5,668.3	46.6	11,126.0	4,511.6	40.6
平成20年	12,168.0	9,249.5	76.0	12,168.0	6,521.5	53.6	11,126.0	4,976.2	44.7
平成25年	11,700.0	9,306.0	79.5	11,700.0	7,187.9	61.4	10,502.0	5,943.9	56.6
平成30年	11,776.0	9,306.2	79.0	11,776.0	7,485.6	63.6	10,663.2	6,488.5	60.8
令和 2年	11,776.0	9,306.2	79.0	11,776.0	7,663.2	65.1	10,663.2	6,908.7	64.8
令和 3年	11,776.0	9,306.2	79.0	11,776.0	7,773.4	66.0	10,663.3	6,953.9	65.2
令和 4年	11,776.0	9,306.2	79.0	11,776.0	7,761.0	65.9	10,663.3	7,042.2	66.0
令和 5年	11,588.0	9,306.2	80.3	11,588.0	7,891.1	68.1	10,429.0	7,176.1	68.8
令和 6年	11,588.0	9,306.2	80.3	11,588.0	7,900.6	68.2	10,429.0	7,262.9	69.6
宮古島市	10,600.0	8,964.2	84.6	10,600.0	7,797.7	73.6	9,789.0	6,590.4	67.3
多良間村	988.0	342.0	34.6	988.0	102.9	10.4	640.0	672.5	100.0

令和 6年 度県計	37,000.0	24,223.9	65.5	37,000.0	19,954.2	53.9	31,000.0	21,376.4	69.0
--------------	----------	----------	------	----------	----------	------	----------	----------	------

注) 令和6年度は実績見込み。

資料：宮古農林水産振興センター農林水産整備課



宮古の農林水産業(概要版)

令和8年3月作成

編集・発行 沖縄県農林水産部
宮古農林水産振興センター
〒906-0012 宮古島市平良字西里1125番地
電 話 (0980)72-2552
F A X (0980)72-1313
